



鳩貝家の柿の実

内谷 2 丁目自治会だより

発行責任者 伊藤 貞治

1. 総会で提起された自治会費について

総会で自治会費について、事業者の定義付けや、事業者間での額の違い、アパートやマンション居住者、2 所帯居住者の会費のあり方について、精査し、基準を考える時期と思う。と提起され役員会で実情把握を含め来年度総会に提案できるよう準備を進めます。と自治会だより 2 号(6 月発行)で報告していました。次のような状況です。

伊藤貞治会長:事業所の会費は役員会で見直し、対処済みです。

2. 定例開催 ふらっとサロン (火曜)

2 丁目自治会員の懇親の場、「ふらっとサロン」を毎週火曜(第 2 火曜除く)13 時~17 時、内谷1・2・3 丁目自治会館で開催しています。自由参加ですから本当に「ふらっと」立ち寄れます。



カラオケ、卓球、近所の人とお話などいかがでしょうか。

3. 「よつばの会」参加者募集

「よつばの会」は原則第 2 火曜開催です。高齢者は交流の場が少なくなりがちですから昼食をとりながら懇親を図っています。



[上下 2 枚の写真は 10 月 11 日(火)文化祭のものです]

問合せ先:婦人部長 古東淑子 TEL:048-866-7129
世話人:秋元ちづ子・湯浅アイ子・大野美知子
民生委員:武南節子

毎月参加者を募っています。月 1 回の交流で顔見知りが増え、散歩などでも知り合いと言葉を交わす機会が増え、違った日常が生まれてくるのではないのでしょうか。

4. 9 月定例一斉清掃を行う

定例の年 4 回(原則 3・6・9・12 月の第 1 日曜日)一斉清掃を 9 月 4 日(日)行いました。前回 6 月から 8 時 30 分スタート時に伊藤会長が挨拶をしています。今回はこれに加えて星野環境衛生部長から具体的な指示や注意事項があり、概ね 9 時まで 30 分間の清掃をしました。約 150 人の参加者でした。

自治会内で清掃作業の多い場所、ほとんど清掃が必要ない場所と環境や周囲の条件に差があります。作業量の少ないところから多いところに応援をし、作業量の平準化に務めました。自分の班は清掃場所がないから作業に参加してもしょうがないと考えている人もいることでしょう。自治会内にはまだまだ環境未整備などがあります。また自治会館付近など共通な場所も清掃を必要としています。

清掃に参加したくとも、様々な事情で参加できない世帯もあります。参加できる条件の世帯は一世帯でも多く清掃作業へ参加をお願い致します。(経過報告裏面に続く)



これからの主な予定

11月3日(木) 内谷自治連体育祭

11 月 3 日(木)恒例の内谷地区体育祭を内谷自治連絡会主催で行います。場所は内谷中学校。今年も沢山の参加を期待します。秋の 1 日楽しく身体を動かし地域の交流を図りましょう。



昨年の男女リレー走者

5. 西浦和地区敬老会を開催しました

南区西浦和地区社会福祉協議会主催の敬老会を9月19日(祝祭日)、西浦和小学校体育館で行いました。この協議会の構成組織は該地区の民生委員、自治会となっております。当日の会場運営はこのメンバーが行いました。



75歳以上の対象者1200人のうち350人以上の元気な方が、近い人は家族に支えられ、遠方の方は送迎バスで集まりました。式典は主催者や来賓の挨拶で進められ、その後アトラクションに入り日本舞踊、フラダンス、沖縄をはじめ各地の民謡が披露されました。



秋の好日、日本舞踊の奈良踊りは1300年前のいにしえを想起させ、フラダンスは遙か南半球の海洋文化を運び、そして沖縄から北海道までの各地民謡を楽しみました。長寿の祝いにふさわしく遠大な時間と空間を感じることができた催しでした。

6. 防災訓練報告

(1) 南区防災訓練

8月27日(土)内谷中学校校庭で南区役所主催で防災訓練を行いました。主催の区役所職員・南消防署・さいたま市消防団(西浦和分団・別所分団)が訓練準備と指導援助を行い、松本、曲本、内谷地区自主防災会会員約280人が訓練を受けました。

訓練内容は、情報伝達訓練・避難誘導訓練から始まり、応急救護、初期消化、仮設トイレ組み立てなど13項目のメニューで行われました。

最後に埼玉県防災航空隊が防災ヘリコプターによる上空指揮支援訓練を夏空のもと展開しました。



写真提供：南区役所・霜田のり子議員

(2) 内谷・曲本地区防災訓練

10月9日(日)内谷一二三自治会館となりの児童公園で内谷1~3丁目、曲本3丁目の約150人が防災訓練を受けました。

この訓練は、南消防署とさいたま市消防団西浦和分団が訓練を指導し、内谷2丁目西浦和分団員の秋元松夫、宮川透、下山大介の皆さんも支援に当たりました。

訓練は、①119番通報訓練、②地震体験車、③AED取り扱い訓練、④水消火器訓練、⑤応急手当訓練、⑥災害時に対する講話などでした。会場内に分団保管の救助資材が展示されました。



秋元松夫さん(内谷2丁目西浦和分団員)のコメント

西浦和消防団は南消防署の活動を補完しています。火災発生時は1秒でも早い消化活動が求められます。その場合地域にいる消防団が大きな役割を担うことになります。今年は幸い5回程の出動ですが、例年15回前後の出動があります。

消防団は消防署と月1回の訓練のほか、消防団が自主的に水出し訓練や機器の点検などで、更に月1回は集まっているでしょう。

出火は深夜に多く、原因にいたずらと思われる付け火があります。ゴミだしのルールを守らず前夜にゴミ出しするなどは付け火を誘発するものです。何気ない日常のルールでも地域で協力して守っていくことが防災の1歩です。

東日本大震災では多くの消防団員を失いました。最後尾で避難を呼びかけた、防潮門の閉門に責任を果たした、などぎりぎりまで住民を守るのが消防団員の使命、という責任感によるものでしょう。

防災訓練では多くの人に参加していただきたい。特に班長さんは順番で回って来ます。チャンスと思って是非参加・経験してもらいたと思います。日頃の協力を感謝します。